

AMSR2 薄氷域検出
プロダクト (TSI)
不具合報告書

2023/8/1
JAXA/EORC

<不具合内容>

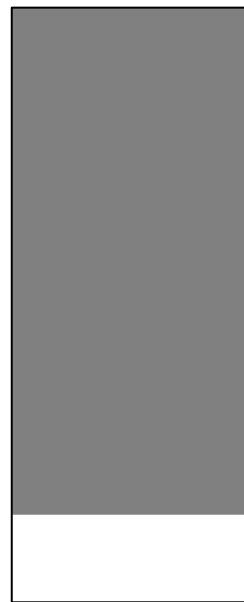
TSIプロダクトを生成する薄氷域検出アルゴリズム内において、輝度温度欠損にかかるチェックフローで判定式の誤りがあった。

薄氷域検出アルゴリズムが算出対象とする北緯30度以北において、不具合が発生していたのは全観測パスにおける4%（観測全パス数：117595パスに対して不具合パス数は4761パス）であった（別紙：TSI_Defect_Product_List.txt参照）。そのため、全観測期間を対象として再処理を実施した。なお、プロダクト精度検証結果に影響はない。

<修正前後比較 2012/07/17 209A>



修正前



修正後

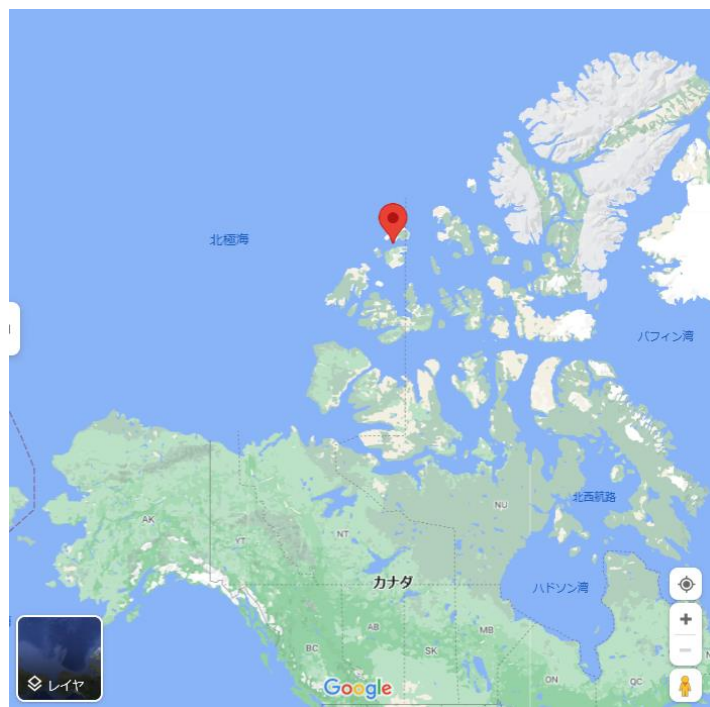
- : 輝度温度欠損だが薄氷と誤判定された領域
- : 欠損

< 検証結果 >

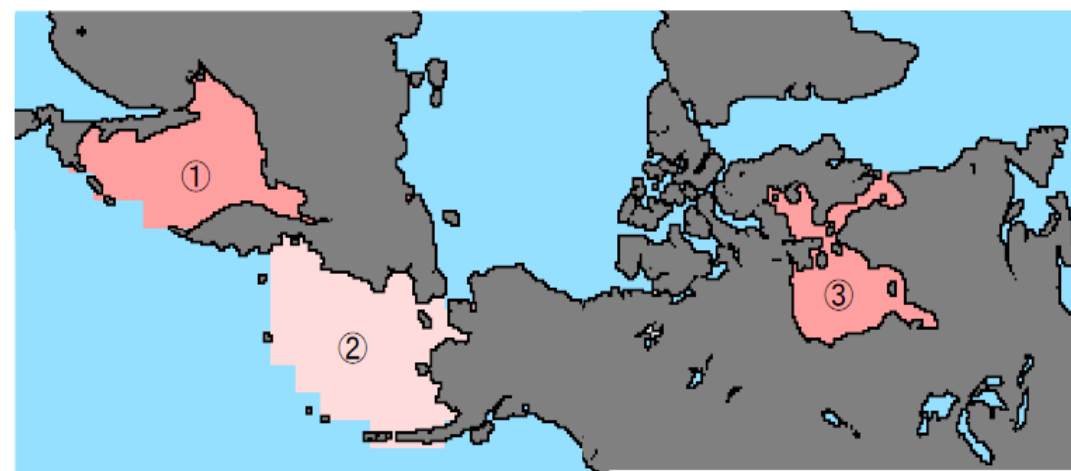
2013年から2016年の検証期間における対象領域（Ascending海氷密接度90%以上）で、不具合発生は、1パス（GW1AM2_201504011535_092A_L2RGTSILX1100100.h5）であった。また、このケースにおいて、本不具合により1ピクセルが0→欠損（TB範囲外）となった。

不具合発生地点は、下記の左側の領域であり、定義された検証対象領域ではなかったため、検証結果への影響はない。

不具合発生地点



検証対象領域



① Okhotsk Sea, ② Bering Sea, ③ Hudson Bay